

## トルコ為替週報

2021年10月5日 | みずほ銀行欧州資金部

## ＜過去1週間の動き＞

(9月28日～10月4日)

USD/TRY: 8.8225～8.9250  
 TRY/JPY: 12.50～12.60 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、史上最安値圏(対ドル)で膠着。29日に掛けてのリラ軟調は、ドル全面堅調の鏡の反面と考えられた。ドル堅調は米長期金利上昇/高止まりを受けた値動きと考えられた。米長期金利上昇は、引き続き、9月22日の米連銀公開市場委員会(具体的には、理事それぞれの政策金利見通し(ドットプロット)が22年末までの利上げ開始の確率が五分五分であることを示唆したこと)を受けた動きと考えられたが、イエレン米財務長官が、「(米債務上限問題が解消できない場合)米国債が債務不履行に陥る危惧」に対する警告を発したこと(28日)が貢献した可能性も考えられた。29日の欧州市場引け後、リラが急落したのは、同日行われたエルドアン大統領とロシアのプーチン大統領の会談後、エルドアン大統領が「ロシア製S-400ミサイルの追加購入に関して協議した」と述べたのがきっかけ。同ミサイル購入に関しては、事前にエルドアン大統領が「追加購入する」と述べていたが(25日)、その後、「会談の主要テーマはシリア問題で、ミサイルに関する話はでない」との観測が広がっていた。米からは、「(追加購入を強行すれば)追加制裁を導入する」と警告がなされており、市場の側にも「波風を立てないのが得策」との予断があったところ、エルドアン大統領が敢えて波風を立てた格好になった。4日発表されたトルコ9月CPIは、市場予想は僅かに下回ったものの、2年超ぶりの高水準を更新したものの、リラの反応は希薄だった。トルコ中銀金融政策は、物価動向を超越したところで運営されており、足下物価の上下動のいちいちに反応を示しても意味はないとの諦観が反応薄につながったものと思われた。

## ＜過去1週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
9/30	7:00	貿易収支(USD)	8月	-4.26bn	-4.30bn	-4.32bn
10/4	7:00	CPI(前年比)	9月	+19.58%	+19.65%	+19.25%

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

## ＜向こう1週間の見通し＞

(10月5日～10月11日)

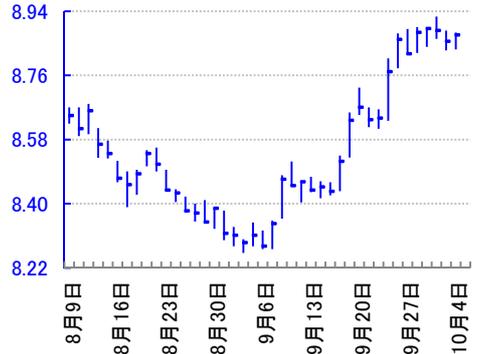
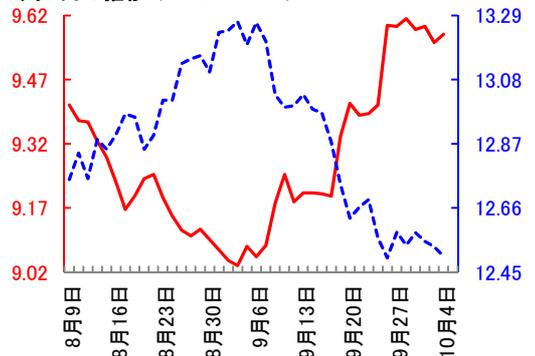
USD/TRY: 8.820～8.910  
 TRY/JPY: 12.40～12.60

向こう1週間のトルコ・リラ相場は、方向感に乏しい膠着の継続を中心に予想。この間のリラの値動きは米側の要因(米長期金利動向)によるところがほとんどと思われたが、当面はそうした状況が継続するのではなかろうか。そうした目線で、8日の米9月雇用統計に対するドルの反応が注目される。上述の通り、トルコ9月CPIに対するリラの反応は乏しかったが、コアCPIが8月の前年比+16.76%から同+16.98%に急伸していた点は気に掛かった。仮に10月21日に予定されるトルコ中銀金融政策委員会が、9月に続いて100b.p.の利下げに踏み切れば、実質政策金利(1週間物レポ金利-インフレ率)がほぼゼロになってしまうからだ。もっとも、「政策金利をインフレ率よりも高い水準に維持する」と繰り返し強調しながら、インフレ率の定義をCPIからコアCPIにすり替えてしまうようなカブジュオール総裁のことだから、利下げを正当化するのに、また、どんな新しい理由を持ち出さないと限らない。或いは、単純に、10月の利下げ幅を75～50b.p.にとどめれば問題ないという考え方もできよう。11日のトルコ経常収支は、中期的なリラ動向を占う上では非常に重要な指標。非居住者からの投資/投機目的の資金流がほぼ途絶えたと思われる今、リラ動向に影響を及ぼす要因として、経常的な資金流の重みが増していると考えられるから。リラは反応を示さなかったが、アルジャン・ギュル財務副大臣は、28日、「金利を引き下げるためには財政赤字や経常赤字を抑制する必要がある」と述べた。一方で、政府は、1日、リラ建預金に対する源泉徴収税免除(注1)を年末まで延長すると発表(注2)。財務省の中にも勿論様々な考え方はあろうが、財政引き締めとは逆行する動きで、財務副大臣にも言行一致は容易ではないようだ。

## ＜向こう1週間に発表予定の主要経済指標等＞

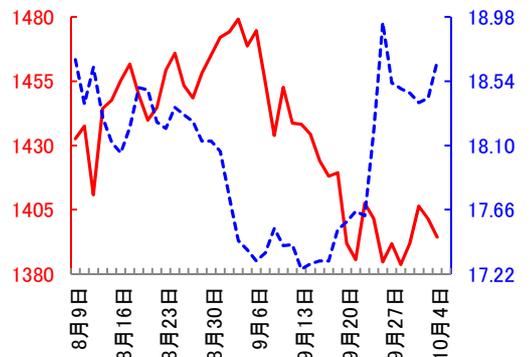
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
10/11	7:00	経常収支(USD)	8月			-0.68bn
	7:00	失業率	8月			+12.0%

## USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)

バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)  
リラ/円の推移(ロンドン 17:00)

## 株式市場の推移(ISE 100種指数)

## 長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料:トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

## トルコ関係主要経済指標

1週間物レポ金利		18.00%
成長率(GDP/前年比)	Q2	+21.7%
失業率	7月	12.0%
消費者物価(前年比)	9月	+19.58%
鉱工業生産(前年比)	7月	+8.7%
小売売上高(前年比)	7月	+12.3%
貿易収支(USD)	8月	-4.26bn
経常収支(USD)	7月	-0.68bn

(注1) 政府は昨年9月に導入し、この9月末に期限切れを迎えるはずだった。

(注2) 観測は9月22日までには広がっていた

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。